

NGO相談員による出張サービス実施報告

NGO相談員による出張サービスを下記のとおり実施しましたので、下記のとおりご報告します。

記

1 企画名および企画概要

- 企画名： 国際協力の果たす役割と日本のODA事業について
- 企画実施概要： ①実施内容
 ・NGO相談員制度の紹介
 ・SDGsの概要説明
 ・日本のODA事業の紹介
 ・ODA資金を活用し実施する営団体の事業紹介
- ②対象者および参加人数
 参加者 239人(高校1年生)

2 出張者氏名

小笠原 直子

3 依頼元／主催団体名

岩手県立水沢高等学校

4 実施予定日時

平成31年6月14日 (金) 13:30～15:00

5 実施場所

岩手県立水沢高等学校

6 実施報告

参加者の感想

- ・自分はSDGsの中で環境問題が一番大切だと考えていたが、先進国も開発途上国も1つになって達成に向かって取り組んでいくことが大切だと感じた。
- ・これまでSDGsについて学んだことはあったが、地球の為に世界で頑張っている人がいるんだなと他人事だった。講演を通して、今自分にできることがあり、これからの社会を生きていくのは自分たちなので、自分だけが満足するのではなく、誰かのために自分が何をできるか考えていきたい。
- ・IVYの活動を聞き、日本のNGOが海外で起きている課題に対して様々な支援をしていることが分かった。

7 写真

	
持続可能な開発目標の説明をするNGO相談員	ミレニアム開発目標が定められて以降、2000年と2015年のグラフを比較しどのような課題が改善されたか考える生徒。

(写真1)

(写真2)

以上

令和元年7月10日

外務省国際協力局民間援助連携室

団体名

特定非営利活動法人
日本国際ボランティアセンター

NGO相談員による出張サービス実施報告

NGO相談員による出張サービスを下記のとおり実施しましたので、下記のとおりご報告します。

記

1 企画名および企画概要

- 企画名：東京外語大学 講義「国際協力論A」（ゲスト講師）
- 企画実施概要：①実施内容：東京外語大学における、開発協力や日本の援助全般について取り扱う授業「国際協力論A」に、当団体職員を講師として派遣す
②対象者および参加人数：該当講義履修生約40名

- 2 出張者氏名 並木 麻衣（広報／ファンドレイジンググループマネージャー）
- 3 依頼元／主催団体名 東京外語大学 中川寛章（担当教員）
- 4 実施予定日時 令和元年6月7日（金） 12:40～14:10
- 5 実施場所 東京外語大学 府中キャンパス研究講義棟109教室（住所：東京都府中市）
- 6 実施報告
- ・ 該当企画において、途上国における日本のNGOの活動と同時に財政構造など日本のNGOをとりまく現状について説明することで、NGOの状況と役割を示した。
 - ・ 対象である学生からは、「『かわいそうだから』支援するのではなく『人々の尊厳を回復するために』支援している、という言葉が印象的だった」、「現地住民をエンパワーすることの重要性が理解できた」、「資金調達などの日本のNGOの困難さを初めて知った」などの感想をいただいた。

7 写真

	
講義の最初に本制度のポスターを使って制度説明も行った。	一方的な講義形式だけでなく、学生に問いかけながらの形式をとった。

（写真1）

（写真2）

以上

令和元年7月10日

外務省国際協力局民間援助連携室

団体名

特定非営利活動法人
日本国際ボランティアセンター

NGO相談員による出張サービス実施報告

NGO相談員による出張サービスを下記のとおり実施しましたので、下記のとおりご報告します。

記

1 企画名および企画概要

- 企画名： 東海大学教養学部国際学科 講義「国際協力とNGO」（ゲスト講義）
- 企画実施概要： ①実施内容：東海大学における、国際協力について取り扱う授業「国際協力とNGO」に、当団体職員を講師として派遣する。
- ②対象者および参加人数：該当講義履修生他、約40名

- 2 出張者氏名 渡辺 真帆（パレスチナ事業担当）
- 3 依頼元／主催団体名 東海大学 木下理仁（担当教員）
- 4 実施予定日時 令和元年6月17日 （ 月 ） 13:25～15:05
- 5 実施場所 東海大学湘南キャンパス13号館203教室（神奈川県平塚市）
- 6 実施報告
- ・ 該当企画において、当団体のパレスチナ事業を事例に日本のNGOの活動とそれを取りまく現状を紹介することで、日本のNGOの役割を示
 - ・ 対象である学生からは、「パレスチナ自治区での生活の過酷さは想像していた以上だった」、「占領の状況が長い期間にわたって改善されてきていないことにもどかしさを感じた」、「まずは問題を知ること、NGOに募金するなど自分でもできることを知ることができた」などの感想をいただいた。

7 写真

	
講義の最初に本制度のポスターを使って制度説明も行った。	現地留学および赴任の経験から、パレスチナ現地の情勢を実感を持って伝えた。

（写真1）

（写真2）

以上

令和元年7月10日

外務省国際協力局民間援助連携室

団体名

特定非営利活動法人
日本国際ボランティアセンター

NGO相談員による出張サービス実施報告

NGO相談員による出張サービスを下記のとおり実施しましたので、下記のとおりご報告します。

記

1 企画名および企画概要

- 企画名：** 京都府アジア・アフリカ・ラテンアメリカ連帯委員会第42回定期総会
企画実施概要： ①実施内容：主催団体の定期総会において、特にスーダン現地情勢を伝えるために当団体職員を派遣する。
②対象者および参加人数：主催団体会員および非会員約30名

2 出張者氏名 小林 麗子（スーダン事業担当）

3 依頼元／主催団体名 京都府アジア・アフリカ・ラテンアメリカ連帯委員会

4 実施予定日時 令和元年6月29日（土） 13:30～15:10

5 実施場所 職員会員「かもがわ」（住所：京都府京都市）

6 実施報告
・該当企画において、昨今のスーダンの現地情勢および日本のNGOの活動を紹介することで、国際的な課題とそれに対する日本のNGOの役割
・対象である参加者はスーダン情勢を含む国際情勢に関する関心が高く、「最新の情報が得られてよかった」、「理解が深まった」などの感想をいただいた。また、スーダンに関連する新しい資料を主催者／参加者から提示もされるなど、関心の高さが伺えた。

7 写真

	
公演の最初に本制度のチラシを使って制度説明も行った。	参加者には国際情勢に関心の高い方が多かった。

（写真1）

（写真2）

以上

NGO相談員による出張サービス実施報告

NGO相談員による出張サービスを下記のとおり実施しましたので、下記のとおりご報告します。

記

1 企画名および企画概要

- 企画名：国際協力の理解・実施に向けたワークショップ
- 企画実施概要：①実施内容
国際協力について学び、進めようとしている高校2年生を対象に、グローバルな課題の現状や国際協力について深く理解する開発教育のワークショップを実施した。教職員はそれを見学してもらい、後半は、開発教育の進め方を説明した。
国際協力NGO、開発教育や国際理解教育に関する教材・資料等の照会にも対応した。
- ②対象者および参加人数
高校2年生 35名、教職員 20名

- 2 出張者氏名 岩岡 由季子
- 3 依頼元／主催団体名 新島学園中学校・高等学校
- 4 実施予定日時 令和1年6月28日（金） 13:30 ～15:00
- 5 実施場所 新島学園中学校・高等学校（住所：群馬県安中市）
- 6 実施報告 前半のワークショップでは、世界や日本の難民の数などをクイズ形式で学んだ後、日本に暮らす難民の方々のエピソードを使用して、日本の難民受け入れ制度や日本での暮らしについてグループワークを実施した。参加者のふりかえりでは、「難民に対するイメージが変わり、より身近に感じた」という感想や、「なぜ日本は難民の受け入れがこんなに少ないのか」「難民をかわいそうと思っていたが、かわいそうでは片づけられない」「日本人は難民という言葉にマイナスイメージを持っている、それがさらに彼らを苦しめている」という発言もあった。今回のワーク後半の教員研修では、ワークショップの流れとともに、参加型学習のポイントや取り入れ方などを質疑応答も交えながら説明した。

7 写真

	
ワークショップの様子①	ワークショップの様子②

(写真1)

(写真2)

以上

令和1年7月9日

外務省国際協力局民間援助連携室

団体名

特定非営利活動法人
名古屋NGOセンター

NGO相談員による出張サービス実施報告

NGO相談員による出張サービスを下記のとおり実施しましたので、下記のとおりご報告します。

記

1 企画名および企画概要

企画名：第7回ぼらマッチ！なごや

企画実施概要：ボランティアを求める団体と希望者のマッチングイベントに参加し、NPO/NGOによる活動紹介と来場者および他の出展団体からの相談に對
②対象者および参加人数：学生中心、他社会人、退職者など、来場者約250名

2 出張者氏名 田口裕晃

3 依頼元／主催団体名 名古屋市、名古屋市社会福祉協議会

4 実施予定日時 令和1年6月15日（土） 10時00分 ～ 15時30分

5 実施場所 愛知学院大学 名城公園キャンパス（住所：愛知県名古屋市）

6 実施報告 本イベントは、名古屋市と名古屋市内に拠点を置くNGO、大学、社会福祉協議会等が参加して企画されたものであった。参加者の多くはボランティアを経験したことのない人ばかりで、国際協力に関心のある人も非常に多く来場された。他の団体からも国際協力ボランティアの相談があれば、NGO相談員へまわしていただくという連携もできており、地域の団体とも連携して、相談業務を実施することができた。

7 写真

	
会場の様子	ブース出展の様子

（写真1）

（写真2）

以上

令和1年7月9日

外務省国際協力局民間援助連携室

団体名

特定非営利活動法人
名古屋NGOセンター

NGO相談員による出張サービス実施報告

NGO相談員による出張サービスを下記のとおり実施しましたので、下記のとおりご報告します。

記

1 企画名および企画概要

- 企画名：** サステナブル・コ・イノベーション フォーラム 2019 (SCI2019)
- 企画実施概要：** ①企画内容：企業とソーシャルが繋がる場の提供および社会課題の解決に取り組む協働プロジェクトを創造することを目的としたフォーラムにブース出展し、来場者からの相談対応を行った。
- ②対象者および参加人数：SDGs、CSV、CSRに取り組む企業担当者、NGO関係者等 来場者約200名

2 出張者氏名

村山佳江

3 依頼元／主催団体名

SCIフォーラム事務局

4 実施予定日時

令和1年6月17日 (月) 13:30 ~ 16:00

5 実施場所

ミッドランドホール (住所：愛知県名古屋市)

6 実施報告

SDGs、CSV、CSRに関心の高い企業担当者や自治体の担当者に、SDGsをテーマにしたNGOとの連携について、情報を伝えることができた。来場者からは次の声が寄せられた。

「SDGsに関する取り組みを社内で検討している。NGOとの連携に興味がある。」

「自治体のSDGs担当者。NGOについて詳しく知りたい。」

「どんなNGOがあるのか。NGOに情報がほしい。」

7 写真

	
会場の様子	ブース出展の様子

(写真1)

(写真2)

以上

令和元年9月6日

団体名

特定非営利活動法人
アイキャン

NGO相談員による出張サービス実施報告

NGO相談員による出張サービスを下記のとおり実施しましたので、下記のとおりご報告します。

記

1 企画名および企画概要

企画名：

愛知淑徳大学における講演会

企画実施概要：

①実施内容

愛知淑徳大学の生徒約60名を対象に、国際協力NGOの活動内容や身近にできる社会貢献についての講演会を行う。

②対象者および参加人数

愛知淑徳大学交流文化学部1～4年生 60名ほど

2 出張者氏名

西坂 幸

3 依頼元／主催団体名

愛知淑徳大学

4 実施予定日時

令和元年6月12日（水） 11：10～12：30

5 実施場所

会場名（住所：愛知県名古屋市）

6 実施報告

愛知淑徳大学の生徒約60名に、グローバル化と地球規模の問題についての複雑な絡みについて理解を深めてもらうとともに、国際協力NGOとして当団体の活動内容を紹介しながらSDGs達成に向けて大学生にできる事を考えてもらった。生徒からは、「SDGsの目標は全てが絡み合っていて、ひとつの解決が他の目標の解決につながると気づく事ができた。」「小さな事の積み重ねが大事だと思ったので小さな事でも始めたい」との声を頂いた。

7 写真



SDGs達成のために身近にできる事や将来的にできる事をグループで話し合い、多くの具体的なアイデアが出た。

（写真1）



普段の講義でもSDGsやグローバル化について学んでおり、質問に対して自分の意見を持っている生徒も見受けられた。

（写真2）

以上

令和1年9月6日

外務省国際協力局民間援助連携室

団体名

特定非営利活動法人
アイキャン

NGO相談員による出張サービス実施報告

NGO相談員による出張サービスを下記のとおり実施しましたので、下記のとおりご報告します。

記

1 企画名および企画概要

企画名： 国土館大学政治行政学科の学生に対する講演

企画実施概要： ①実施内容
同学科の国際機構論の講義において「国際社会におけるNGOの役割－SDGs実現のための国際協力」のテーマで講演を行った。

②対象者および参加人数
大学3・4年生（1・2年生および一般聴講者含む） 約130名

2 出張者氏名 吉田 文

3 依頼元／主催団体 国土館大学 政経学部 政治行政学科 上村信幸 教授

4 実施予定日時 令和元年6月28日（金） 16時25分 ～ 17時55分

5 実施場所 国土館大学（住所：東京都世田谷区）

6 実施報告 国際社会におけるNGOの役割について話すとともに、より具体的に理解していただけるよう当団体の活動をいくつか事例として取り上げた。国土館大学には、SDGsやボランティア活動に関心の高い学生が多く、質疑応答の時間では、海外におけるフードバンクや環境問題への取り組み（SDGs目標2・13）に関する質問もあった。また学生からは「将来進む道は明確には決まっていないが、社会や世界のことを考えて自分にできる最善の選択をしたい。」との声を頂いた。

7 写真



NGOの役割についての説明時は、頷いたりメモを取りながら聞く学生の姿が目立ち、国際協力やSDGsへの関心の高さがうかがえた。

（写真1）



学校内にポスターを掲示し、受講生だけでなくひろく聴講希望生を募ってくださった。大学自体の関心の高さを感じた。

（写真2）

以上

NGO相談員による出張サービス実施報告

NGO相談員による出張サービスを下記のとおり実施しましたので、下記のとおりご報告します。

記

1 企画名および企画概要

企画名：「SDGs概論～ファストファッションを通じて持続可能な社会の在り方を考える」

企画実施概要：
①池坊短期大学の学生・教員を対象にSDGsの内容とその取り組みについて講演する。
②国際関係学科のない大学において、SDGsを紹介し理解を深め、達成に向けた取り組みを促す。

2 出張者氏名 高橋美和子

3 依頼元／主催団体名 池坊短期大学

4 実施予定日時 令和1年6月13日（木） 14:30～16:00 終了後相談対応実施

5 実施場所 池坊短期大学（住所：京都府京都市）

6 実施報告 国際関係学科のない大学において、ファストファッションを切り口としてSDGsを紹介し理解を深め、達成に向けた取り組みを促した。SDGsという言葉聞いたことがある受講者は一人もいなかったが、事業終了後、「ファストファッションの問題と途上国の労働環境を初めて知って、SDGsのつくる責任・つかう責任の大切さを学んだ」、「フェアトレードは聞いたことがあるが購入したことがなかったので、今度からは関心を持ちたい」、「自分の好きなファストファッションのブランドが沢山出てきたことがショックだった、地産地消の大切さがわかった」といった感想が寄せられた。映像と講義を織り交ぜながら進めたため、学生が熱心に受講してくれたことが良かった。
参加者：池坊短期大学の学生25名、教員2名

7 写真



学生の質問に答えている様子



講義風景

(写真1)

(写真2)

以上

令和元年7月3日

外務省国際協力局民間援助連携室

団体名

公益財団法人PHD協会

NGO相談員による出張サービス実施報告

NGO相談員による出張サービスを下記のとおり実施しましたので、下記のとおりご報告します。

記

1 企画名および企画概要

企画名： 「南国暮らしの会」主催の講演会での講演

企画実施概要： ①実施内容
南国暮らしの会の主催する講演会にて関西支部の会員に対して国際協力をテーマに講演を行った。特に、ミャンマーの農村地域の様子や課題、当会のNGO組織としての取り組みを中心に話した。

②対象者および参加人数
NPO法人南国暮らしの会 関西支部 会員 50名

2 出張者氏名 山本 健太郎

3 依頼元／主催団体名 NPO法人 南国暮らしの会

4 実施予定日時 令和元年6月8日 (土) 15:30 ~ 16:30

5 実施場所 大阪市立生涯学習センター (大阪市北区梅田1-2-2-500)

6 実施報告
NGO相談員として上記の企画内容に沿った形で講演を実施した。参加者にはアジア・太平洋地域でのNPO職員や活動経験が多い方が参加しており、国際協力への意識が高かった。講演ではまずNGO相談員制度の説明を行い、NGOの運営が会費や助成金、事業委託費で成り立っていることを説明。その後、当会のミャンマーからの研修生も同行し、アジアの村の様子を紹介した。特にミャンマーでの村の様子や課題解決に向けたアプローチを説明した。

参加者の感想：NGO団体の現地活動の継続性の難しさやこれまでの成果について関心があった。数字やデータとしての分析は難しいが、一定の期間の中での村・地域の変化を垣間見て、評価することはできると感じた。

7 写真



NGOの運営と相談員制度について説明した。

(写真1)



NPO南国暮らしの会の講演の様子。
研修生が所属する農村地域の様子や課題解決に向けたアプローチについて説明した。

(写真2)

以上

令和元年7月3日

外務省国際協力局民間援助連携室

公益財団法人PHD協会

NGO相談員による出張サービス実施報告

NGO相談員による出張サービスを下記のとおり実施しましたので、下記のとおりご報告します。

記

1 企画名および企画概要

企画名： 「第20回NGOスタディツアー合同説明会ブース出展」

企画実施概要： ①実施内容

NGO合同によるスタディツアー説明会会場にNGO相談員ブースを出展し、説明会参加者からの相談に対応した。

②対象者および参加人数

近畿圏の大学生82名、スタッフ約40名

2 出張者氏名 坂西卓郎（PHD協会）、高橋美和子（関西NGO協議会）

3 依頼元／主催団体名 株式会社マイチケット

4 実施予定日時 令和元年6月15日（土） 13：30 ～ 17：00

5 実施場所 大阪府大阪市

6 実施報告 PHD協会と関西NGO協議会の2団体で、14名、25件の相談に対応した。内訳はNGO関係者2名、学生11名、その他1名であった。当日の参加者は近畿圏の大学生を中心に過去最大規模となる82名の学生イベント名の通り、中心はスタツアに関する質疑であるが、各ブースで対応できない、海外ボランティアやNGOの就職、NGO設立に関しての相談を相談員ブースで対応した。相談員ブースが主会場に置かれたこと参加者の感想：相談員ブースがあることは知らなかったが、有意義な時間となった。ありがたい。

7 写真



（キャプション）NGO相談員ブースにて学生からの就職相談を受けている様子

（写真1）



（キャプション）スタディツアー合同説明会全体の様子。82名の学生が参加し、積極的な質疑応答が行われた。

（写真2）

以上

NGO相談員による出張サービス実施報告

NGO相談員による出張サービスを下記のとおり実施しましたので、下記のとおりご報告します。

記

1 企画名および企画概要

企画名： 愛徳学園高等学校「グローバルスタディ」の授業における講演

企画実施概要： ①実施内容
・NGO相談員として女性の抱える課題を中心にアジアの農村の現状と課題についての講演
・当会のミャンマー人研修生であるモーママ氏が同行し、ミャンマーの現状についての講演

②対象者および参加人数

愛徳学園高等学校 グローバルスタディ生徒24名、教師6名、計30

2 出張者氏名

坂西 卓郎

3 依頼元／主催団体名

学校法人 愛徳学園

4 実施予定日時

令和元年6月26日（水） 10:50 ～ 11:30

5 実施場所

兵庫県神戸市

6 実施報告

愛徳学園は国際理解教育に力を入れており、今回はグローバルスタディという科目内で講演を行った。内容はNGO相談員として女性の抱える課題を中心にアジアの農村の現状と課題に触れた。同校は女子校ということもあり、世界のジェンダーイシューについても紹介した。また、当会の研修生であるモーママ氏が同行し、ミャンマーの現状についても話題提供をした。

学生たちは大変快活で質疑応答も活発であった。また、学校内でも関心が高かったようで、校長先生を含む6人の先生が授業を見学されていた。

参加者の感想：2部構成のお話で、とても分かりやすかった。時間が短くて、もっと聞きたかった。モーママさんの話も魅力的で、同じ女性として学ぶところが大きかった。今日の講座を通じて、国際協力について理解を深めることができた。

7 写真



（キャプション）NGO相談員制度及び外務省との連携について説明しているところ

（写真1）



（キャプション）クラス内の様子。生徒24名と教師6名が参加し、熱心に授業に耳を傾けた。

（写真2）

以上

令和元年7月10日

外務省国際協力局民間援助連携室

団体名

特定非営利活動法人
AMDA社会開発機構

NGO相談員による出張サービス実施報告

NGO相談員による出張サービスを下記のとおり実施しましたので、下記のとおりご報告します。

記

1 企画名および企画概要

企画名：岡山学芸館高校 スーパーグローバルハイスクール プログラム

企画実施概要：①実施内容
ODA出前講座(NGO相談員との共同講座)
「ODAとは？海外で通用する日本人の心構えとは？」をテーマに講演を実施

②対象者および参加人数
1年生200名（スーパーグローバルハイスクール プログラム参加者）＋
岡山東ロータリークラブ約20名
山上正道

2 出張者氏名

3 依頼元／主催団体名 外務省国際協力局民間援助連携室

4 実施予定日時 令和元年6月6日（木） 14:30～16:30

5 実施場所 会場名（岡山学芸館高校（住所：岡山県岡山市東区西大寺上1-19-19）

6 実施報告
・ 海外と日本の交流があってこそ、世界は成り立っているのかなと思った。
様々な世界のつながりを知ることができた。
・ ODAやNGOなどが行っていることは、私たちには関係ないと思っていたが、
そうではなかった。私たちも世界の小さなことにも目を向けて、国際社会で活躍
できる人になりたいと思った。
・ 私は開発途上国は遠く、自分にできることは無いと思っていたが、岡山にい
ても、彼らのために貢献できることがあるのだと知った。まずは開発途上国のこ
とに関心を持ち、よく理解したいと思った。

7 写真



出前講座の様子



NGO相談員（左） 外務省職員（右）

(写真1)

(写真2)

以上

団体名
特定非営利活動法人
ピースウィンズ・ジャパン

NGO相談員による出張サービス実施報告

NGO相談員による出張サービスを下記のとおり実施しましたので、下記のとおりご報告します。

記

1 企画名および企画概要

- 企画名： 広島文化学園大学において、国際協力、難民支援等の実情と課題について講義をする。
- 企画実施概要： ①実施内容
将来教員を目指している学生に対して、難民支援の現場の状況などの話をするにより、教育現場の国際化の助けとなることを目的として、実際の海外での活動を紹介する。
- ②対象者および参加人数
こども学科の学生8人

- 2 出張者氏名 角免昌俊
- 3 依頼元／主催団体名 広島文化学園大学 学芸学部 里村生英講師
- 4 実施日時 令和1年6月29日 （土）
- 5 実施場所 広島文化学園大学(住所：広島県広島市安佐南区長東西3-5-1)

6 実施報告

国際問題などを学ぶ講座を受講する学生にたいして、難民支援とNGOの仕事というテーマに講演を行った。当会の支援紹介を通して、緊急支援での国際NGOの活動を説明した。また、スフィアスタンダードなど基準があることを紹介し、国連や現地政府との連携や参加型の支援方法について話した。以下、学生のコメントを抜粋。

・「地域の文化レベルに合わせた支援」ということが印象に残った。支援とは、日本での災害支援と同じことをすることだと思っていたからだ。仮設住宅をつくり、場合によっては、移住することを支援するのが、支援だと思い込んでいた。

・支援をするとき、「しすぎない」ということに気をつけている、ということにはびっくりした。また、支援をするときに、テントとか水の調達しか頭になかったけれど、「現地の人とのコミュニケーション」をとることが、支援を支えていることを今回初めて知った。

・現地での支援の内容に、自治会・イベントが入っていることは意外だった。そして、自分の国へ帰ったときのことを考えて、教育等の支援がなされていることを知って、「教育」って本当に大事なんだとあらためて思った。

・日本にいと当たり前前に感じているものも、紛争や災害で家や家族・財産を失った人たちには大切なもので、確かに誰かの支援はなければ、「自立して生活していく」ということは難しいということを感じた。

・紛争がなぜ起こるのか、減らないのか、の理由の1つに、「資源」の取り合いがあることを改めて意識した。

・最後に「興味をもつ」ということは、今の私にもできることかなと思った。寄付をするということもできるけれど、興味・関心をもつ、ということが大切だと思う。

7 写真

大学構内における撮影申請が許可されなかったため添付無し	大学構内における撮影申請が許可されなかったため添付無し

(写真1)

(写真2)

以上

令和1年9月6日

外務省国際協力局民間援助連携室

団体名

特定非営利活動法人
えひめグローバルネットワーク

NGO相談員による出張サービス実施報告

NGO相談員による出張サービスを下記のとおり実施しましたので、下記のとおりご報告します。

記

1 企画名および企画概要

企画名： 徳島県立富岡東中学校・高等学校

企画実施概要： ①実施内容
SDGsや世界の教育の現状を伝え、持続可能な社会づくりのための世界規模の取組みと、国際協力活動の事例を紹介した。

②対象者および参加人数
中高校生832名、職員約50名

2 出張者氏名

菅 未帆

3 依頼元／主催団体名

徳島県立富岡東中学校・高等学校

4 実施予定日時

令和元年6月14日 (金) 13:00 ~ 15:15

5 実施場所

徳島県立富岡東中学校・高等学校（徳島県阿南市）

6 実施報告

- ・ 私たちが国際理解や環境のことを考えずに生活してきたことによって、気候変動が起きたり、環境破壊が進んだり、私たちの未来が危機に瀕しているといった感想にあるように、学習と世界での現象に対する理解が促進された。
- ・ SDGsの17のターゲットは、一人一人が協力して助け合い、考える必要性和一つでも多く少しずつ小さなことに気づいて協力していきたいという生徒の気づきにつながった。
- ・ SDGsはアフリカだけの問題だと思っていたが、徳島の身近な問題であることを多くの生徒が認識し、少しでも改善していけるよう努力していきたいと行動へつなげようという感想を得た。

7 写真

	
公演中	体育館にいっぱいの生徒

(写真1)

(写真2)

以上

NGO相談員による出張サービス実施報告

NGO相談員による出張サービスを下記のとおり実施しましたので、下記のとおりご報告します。

記

1 企画名および企画概要

企画名： 世界の子どもたちの人権（さぬきこどもの国）

企画実施概要：

①実施内容

ESDやSDGsなど、持続可能な社会づくりのための取組を紹介するとともに、世界の子どもたちの人権や多文化共生に資する具体的活動事例を紹介した。国際協力活動や国際理解、開発教育、ODAについて情報提供した。

②対象者および参加人数

大型児童館スタッフ26名

2 出張者氏名

菅 未帆

3 依頼元／主催団体名

公益財団法人 さぬきこどもの国

4 実施予定日時

令和元年6月17日 （月） 11:00 ～ 12:30

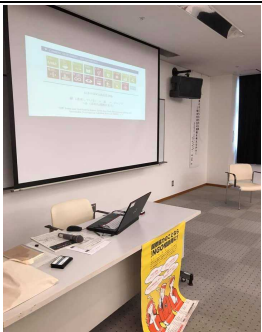
5 実施場所

さぬきこどもの国（香川県高松市）

6 実施報告

- それぞれの国の傾向を、先生の経験談を交えてお話いただいたので、とても分かりやすかった。今回の講義がなければ、知らないことばかりだった。
- 「とまどいをとりのぞく工夫」をしていくことは、誰にとってもやさしい対応だと思う。小さなことからでも取り入れていきたい。色々な国の方ともっとコミュニケーションをとりたいと思いました。
- ここ何年か、海外の方の利用が増えているので、海外の方に対することを学べとても良かった。海外の方の考え方、文化、習慣など、私とは違うところもたくさんあり、今後の業務に生かせそうだった。

7 写真

	
プレゼンのようす	グループワーク討論中

(写真1)

(写真2)

以上